SIZE:182x257mm 厳守

ROOM MATE

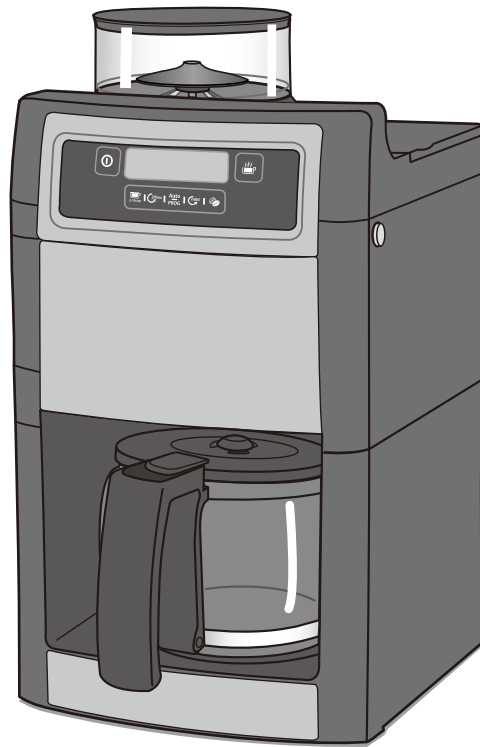
ルームカフェ

コーヒー豆 / 粉対応 全自動コーヒーメーカー

取扱説明書

品番 EB-RMCM4

家庭用

もくじ　ページ

この度は「ルームカフェ」をお買上げ頂きありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項及び警告事項について詳しく記載しています。本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読み頂き、内容を十分にご理解された上で、事故が起こらぬように記載内容に従って正しくご使用願います。本製品は一般家庭用に開発された商品です。事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しないでください。また、一度お読みになった後も必要時にいつでもご確認できるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。
製品改良のため、 予告なしにデザイン ・ 仕様を一部変更する場合があります。予めご了承願います。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。
内容をよく理解して記載事項をお守りください。

⚠警 告	⚠注 意
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

記号は、「禁止」(しないでください)を示します。

記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

安全にご使用いただくために

①取扱説明書に記載されていない方法や、一般家庭用以外(業務用など)でのご使用や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因となります。絶対におやめください。
②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

⚠警告

分解禁止

修理技術者以外は、絶対に分解・修理改造をおこなわない
●発火したり、異常動作してけがの原因になります。
※修理はお買上げの販売店にてご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、重い物をのせたりしない
●火災の原因になります。

電源コードを束ねて使わない
●熱の逃げ場がなくなって高温になりショート・発火の原因になります。

コンセントや配線機具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外では使わない
●たこ足配線などで定格を超えると、発熱し発火・感電の原因になります。

傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
●火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
●感電やけがの原因になります。

本体を水に浸けたり、水をかけたり、丸洗いしない
●ショートによる感電・故障の原因になります。

子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない
おもちゃとして絶対に使用させない
●やけど・感電・けがの原因になります。

蒸気口に触ったり、顔などを近づけたりしない
●やけどをする恐れがあります。
特に乳幼児には、触らせないようにご注意ください。

禁止

ガラスサーバーなしで使わない
●熱湯が保温盤にはねてやけどをしたり、加熱して発火する恐れがあります。

使用中や使用後しばらくは、ガラスサーバー、保温プレートなど高温部周辺に触らない
●やけどの原因になります。

必ず守る

ドリップ直後、ガラスサーバーを取り外す時は、抽出口の蒸気に気をつける
●抽出口から熱い蒸気が出ますので、気をつけてください。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む
●差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

異常（異音・異臭・焦げ臭い・動かない・ビリビリと電気を感じる・コードを動かすと通電したりしなかったりするなど）がある時や、電源コードが異常に熱くなったり、本体から煙や異常なにおいが出るような時は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止する
●異常のまま使い続けると、発煙・発火・感電やけがの恐れがあります。
※修理はお買上げの販売店にてご相談ください。

3ヶ月以上使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く
※この場合、時刻 (時計) の設定は、解除されます。
●絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因になります。

電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く
●感電やショートによる発火の原因になります。

電源プラグに付着したほこりやゴミは、定期的に取り除く
●湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

⚠ 注意

禁止

業務用として使用しない
●故障の原因になります。

倒したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない
※本体が落下した場合は、そのまま使わないで点検を依頼してください。
●破損や変形し、けがや故障の原因になります。
●そのまま使用すると発火や感電の原因になる場合があります。
※点検はお買上げの販売店にてご相談ください。

火気の近くや可燃物の近くで使用しない
●変形･故障の原因になります。

壁や家具などの近くでは使わない
●蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色や変形の原因になります。キッチン用収納棚などで使う時は、中に蒸気がこもらないように注意してください。

精密機器の上で使用しない
●コーヒーがこぼれたりすると、機器が故障する原因になります。

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上などでは使用しない
●転倒によるやけどや火災の原因になります。
●ビニールや合成繊維のテーブルクロス、じゅうたんなど熱に弱いものの上で使用すると、変色する恐れがあります。

抽出中にガラスサーバーを外さない
●やけどの恐れがあります。

専用のガラスサーバー以外は、使用しない
●お湯があふれて、やけどや故障の原因になります。また、テーブルや敷物を汚す原因となります。

ガラスサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使用しない
●破損の原因になります。

禁止

使用直後にドリップケースを取り出さない
●やけどの原因になります。

ガラスサーバーが熱いうちに、水の中に入れたり、水をかけたり、濡れた場所に置かない
●ガラスサーバーが割れる恐れがあります。

ガラスサーバーをのせたまま、本体を持ち運ばない
●ガラスサーバーが落下して破損やけがの原因になります。

空だきをしない
●変形･故障の原因になります。
ドリップをしない時は、空のガラスサーバーを保温プレートに置いたまま電源を入れないでください。

水タンクに水を入れたまま放置しない
●故障や変色、においの原因になります。

水タンクに、お湯や牛乳、コーヒーなどを入れない
●変形や故障の原因になります。

ガラスサーバーを食器洗浄機や食器乾燥機に入れたりしない
●破損や変形、けがの原因になります。

必ず守る

続けてコーヒーを作る場合は、電源ボタンを「OFF」にして、約５分待つ
●本体が熱いうちに給水したり、動かしたりすると、湯出口から蒸気や熱湯が吹き出てやけどの原因になります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜き、必ず本体が冷めてからおこなう
※この場合、時刻 (時計) の設定は、解除されます。
●感電ややけどの原因になります。

お願い

コーヒー豆タンクには MAX で 150g まで入りますが、たくさん飲まれない方は、豆の酸化を防ぐためにも１日で消費できる位の量をこまめに入れることをお勧め致します。

●水タンクに水以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
●アルカリイオン水を使用した場合、本体内部にカルシウムが付着しやすくなったり、付着したカルシウムがはがれて、本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなどのトラブルの原因になります。よりこまめなお掃除をしてください。
●天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障、破損に対する保証は致しかねます。

各部のなまえ

本体
コーヒー豆タンクふた
コーヒー豆を挽く細かさ調節ダイヤル
コーヒー豆タンク
コーヒー豆を挽く細かさ調節(5段階)
細かい ○ ○ ○ ○ ○ 粗い
蒸気口
水タンクふた
コーヒー豆のお手入れ窓
(詳細：9ページ)
液晶表示
水タンク
操作ボタン
水位表示(タンク内に表示)
2・4・6・8・10
ドリップケースホルダー
+
ドリップケース(内部)
活性炭フィルターケース+活性炭フィルター
ドリップケースホルダー OPEN ボタン
電源プラグ
抽出口(内部)
保温プレート
電源コード
電源コードは束ねたまま使用しない
→コードが熱くなり、故障の原因になります。
液晶表示
タイマーマーク
18:88
MILD
MEDIUM
STRONG
2 4 6 8 10
電源ボタン
ドリップマーク
コーヒー豆の量表示
コーヒーの濃さ表示
ドリップボタン
ドリップケース満杯警告表示(詳細：8ページ)
操作ボタン
2-10cup
24hrs
Auto
PROG
mint
コーヒー量調節ボタン(5段階)
時間設定ボタン
タイマー設定ボタン(24時間)
分設定ボタン
コーヒーの濃さ調節ボタン(3段階)
付属品
ガラスサーバー
ドリップケース
活性炭フィルターケース
活性炭フィルター
メジャースプーン
お手入れ用ブラシ
用意するもの(市販品)
ペーパーフィルター
(1x4 サイズ／ 4~8 杯用)
■折りかた
ミシン目から2ヶ所を互い違いに折り曲げる。
①
②

お使いになる前に

●初めてご使用になる時や、長時間ご使用にならず保管されていた時はコーヒー粉を入れないで、水だけで 2〜3 回ドリップしてください。(熱湯洗浄します)

水は水位表示 10(MAX) まで入れて、5 ページの 7〜9 の手順をおこない、電源ボタンを押してください。

●取り外して洗える部品などは、ご使用前に一度洗ってからお使いください。(8 ページ参照)

ご使用上の注意

●水タンクに最大容量 10(MAX）を超える水を入れないでください。コーヒーがガラスサーバーからあふれ出ることがあります。

●水タンクにお湯を入れないでください。水は、浄水や市販のミネラルウォーター、飲用水を使ってください。

やけどに注意	ドリップ直後にガラスサーバーを取り出した時に、抽出口より熱い蒸気が出ますのでご注意ください。
空だきしない	水タンクに水が入っていない状態で、空のガラスサーバーを保温プレートに置いたまま、電源スイッチを入れないでください。
ガラスサーバーの取り扱いに注意	●ガラスサーバーを直接火にかけないでください。 ●投げたり、ぶつけたりしないでください。 ●本体を運ぶ時は、ガラスサーバーを別にして移動してください。 →ガラスサーバーが落下して破損やけがの原因になります。

水量目安		
水位表示	水タンク水量	ドリップ後水量
2	約 300ml	約 280ml
4	約 530ml	約 530ml
6	約 800ml	約 800ml
8	約 1080ml	約 1080ml
10	約 1300ml	約 1300ml

[操作ボタン]

コーヒー量調節ボタン

※コーヒー量の調節は、2→4→6→8→10cup 分の設定が2cup 刻みで可能です。

※下記「コーヒー豆分量目安」参照

コーヒー豆分量目安			
量	濃　さ	メジャースプーン杯数（豆）※	コーヒー粉の量
2	MILD	(B) 2 杯	約 14g
	MEDIUM	(B) 3 杯	約 20g
	STRONG	(A) 3 杯＋ (B)1 杯	約 30g
4	MILD	(B) 4 杯	約 30g
	MEDIUM	(A) 3 杯＋ (B) 2 杯	約 45g
	STRONG	(A) 6 杯＋ (B) 1 杯	約 55g
6	MILD	(B) 6 杯	約 45g
	MEDIUM	(A) 7 杯＋ (B) 1 杯	約 60g
	STRONG	(A) 8 杯＋ (B) 1 杯	約 75g
8	MILD	(A) 8 杯	約 65g
	MEDIUM	(A) 9 杯	約 70g
	STRONG	(A)10 杯＋ (B) 1 杯	約 90g
10	MILD	(B)11 杯	約 85g
	MEDIUM	(A)11 杯＋ (B) 1 杯	約 95g
	STRONG	(A)12 杯＋ (B) 1 杯	約 105g

※メジャースプーン 1 杯の豆の量は、(A)：山盛り／ (B)：すり切り

使いかた

各種設定について

各種ボタン操作をする場合は、液晶表示がブルーに光っている時におこなってください。
液晶表示がブルーに光っていない場合は、設定したいボタンを 1 度押し、液晶表示がブルーに光ったら設定できます。
また、各種ボタンを押すたびに「ピッ」と音が鳴ります。

液晶ブルーライトについて

●液晶ブルーライトの点灯は、2 種類あります。

1. 電源プラグをコンセントに差し込んだ際に点灯します。

※ただし操作ボタン設定完了後、約 40 秒ほどで消灯します。また、操作ボタン設定中、約 40 秒ほど設定を中断すると自動的に消灯します。

2. ドリップ完了後、約 2 時間の保温作動時は、液晶のブルーライトは点灯し続けます。

※保温時間が終了すると自動的に消灯します。

水タンク内の「水位表示」と液晶表示の「コーヒー豆の量表示」について

●水タンクに水を「6」の水位表示まで入れた場合は、コーヒー豆の量表示は「6」に設定します。
このように両方の数字を一致させて設定をおこなってください。

※水位表示の数字より多い、コーヒー豆の量表示の数字を設定した場合は、出来上がりのコーヒーは濃くなり、
水位表示の数字より少ない、コーヒー豆の量表示の数字を設定した場合は、出来上がりのコーヒーは薄くなります。

豆からコーヒーを入れる場合

手順 1 ― 準備 ―

※右図と合わせてご確認ください。

1. ドリップケースホルダー OPEN ボタンを押して ドリップケースホルダーを開ける

【注】ドリップケースホルダーはいきおいよく開きますので、手を添えて開けてください。

2. ドリップケースに市販のペーパーフィルターをセットする

※ペーパーフィルターは 4～8 杯用を使用してください。

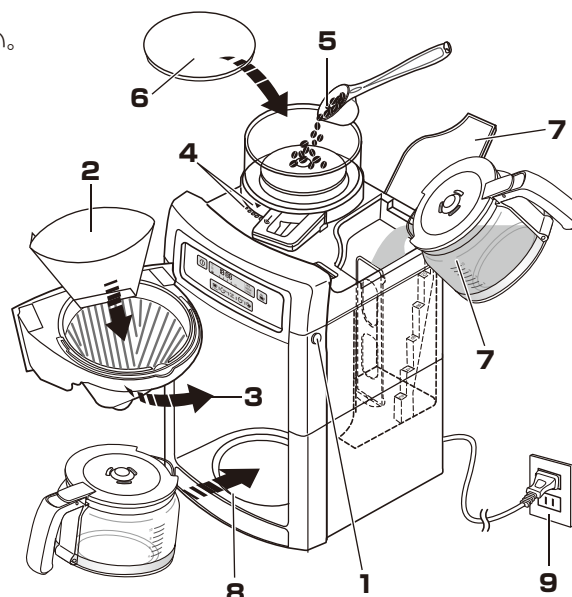
3. ドリップケースホルダーを閉める

4. コーヒー豆を挽く細かさ調節 (5 段階) をする

※コーヒー豆を挽く細かさ調節ダイヤル (コーヒー豆タンク) を回して、三角印を 5 段階の突起に合わせてセットします。

5. コーヒー豆タンクふたを開けて、コーヒー豆を適量（MAX150g）入れる

※4 ページ「コーヒー豆分量目安」をご参照ください。

コーヒー豆タンクには MAX で 150g まで入りますが、たくさん飲まれない方は、豆の酸化を防ぐためにも 1 日で消費できる位の量をこまめに入れることをお勧め致します。

6. コーヒー豆タンクふたをする

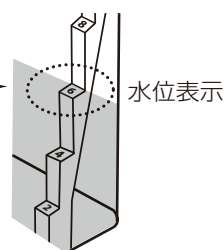
7. 水タンクふたを開け、水タンク内の水位表示に合わせて水を入れる （例：水位 6）

※4 ページ「水量目安」をご参照ください。
※水を入れる際、ガラスサーバーを使用すると簡単です。
【注】水タンク水量分ドリップされます。

8. 保温プレートにガラスサーバーをセットする

【注】セットする際、ガラスサーバーの注ぎ口を少し下に向けて差し込むと、スムーズに入ります。

9. 電源プラグをコンセントに差し込む

●「ピー、ピー」と音が鳴り、液晶表示がブルーに点灯し、［12：00］が点滅します。

[液晶表示：初期]

■準備完了

手順 2 ― 本体操作ボタンで各種設定 ―

※4 ページ目安表をご参照ください。

10. ［操作ボタン］のコーヒー量調節ボタン（2-10cup）を押して、ドリップするコーヒー豆の量を [液晶表示] のコーヒー豆の量表示の2～10 の数値で選択する（例：6）

※5 ページ 7 の水タンクの水位表示と同じ分量 (数字) を選びます。

11. ［操作ボタン］のコーヒーの濃さ調節ボタンを押して、お好みの濃さを [液晶表示] のコーヒーの濃さ表示の 3 種類から選択する（例：MILD）

12. 電源ボタンを押して作動開始

●「ピッ」と音が鳴り、電源ボタンの左に電源ランプが点灯し、液晶表示に［ドリップマーク］と選択例の「6 ／ MILD」が表示されます。

電源ボタン　電源ランプ　[液晶表示]　12:00　MILD　6　ドリップマーク　選択例

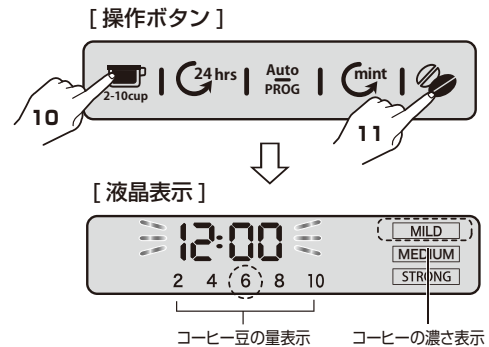
①グラインダーで選択内容に合わせてコーヒー豆が挽かれ、挽かれた粉は自動的にドリップケースに入ります。

※豆量が多いと「コーヒー豆タンク」にコーヒー豆が残る場合があります。

②グラインダーが止まるとドリップが始まります。

③ドリップが終わると「ピー、ピー、ピー」と 3 回鳴ってお知らせします。

④保温時間は 2 時間で、時間経過後「ピー、ピー、ピー」と 5 回鳴って自動的に停止します。

※保温中の 2 時間は液晶のブルーライトが点灯し続け、ドリップマークと［12：00］が交互に点滅します。
保温が終了すると液晶のブルーライトとドリップマークが消灯し、コーヒー豆の量表示とコーヒーの濃さ表示は設定したまま表示されます。

⚠注 意 **使用中や使用直後は、保温プレートや抽出口、及び蒸気口に手を触れない**
→高温になっていますのでやけどをする恐れがあります。特に乳幼児には触らせないように、ご注意願います。

コーヒー粉からコーヒーを入れる場合

1. ドリップケースホルダー OPEN ボタンを押してドリップケースホルダーを開ける

2. ドリップケースに市販のペーパーフィルターをセットする

3. ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れる (上記 10.11. の設定はできません)

※4 ページ「コーヒー豆分量目安」の「コーヒー粉の量」をご参照ください。

4. ドリップケースホルダーを閉める

5. 水タンクふたを開け、水タンク内の水位表示に合わせて水を入れる

※4 ページ「水量目安」をご参照ください。
※水を入れる際、ガラスサーバーを使用すると簡単です。
【注】水タンク水量分ドリップされます。

6. 保温プレートにガラスサーバーをセットする

7. 電源プラグをコンセントに差し込む

●「ピー、ピー」と音が鳴り、液晶表示がブルーに点灯し、［12：00］が点滅します。

8. ドリップボタンを押し (1)、電源ボタンを押す (2) と作動開始

※作動中電源ランプとドリップランプが点灯します。
※液晶表示は [12：00] とドリップマークのみ表示されます。

①ドリップが終わると「ピー、ピー、ピー」と 3 回鳴ってお知らせします。

②保温時間は 2 時間で、時間経過後「ピー、ピー、ピー」と 5 回鳴って自動的に停止します。

※保温中の 2 時間は液晶のブルーライトが点灯し続け、ドリップマークと［12：00］が交互に点滅します。
保温が終了すると液晶のブルーライトとドリップマークが消灯し、［12：00］が点滅します。

9. 全ての作動が終わったら、ドリップボタンを押してドリップランプを消灯する

タイマーで豆からコーヒーを入れる場合

1. 1〜9（5 ページ）**までの準備をする**

※本体の液晶表示が右記のように表示されます。
※時刻を設定するまで時刻表示は点滅を続けます。

［ 液晶表示：初期 ］

2. **現在時刻（時計）の設定をする**

［操作ボタン］の時間設定ボタン［24hrs］と分設定ボタン［mint］を押して、時刻を設定します。
※両方のボタンは長押ししても設定可能です。

時刻設定：例
［18：30］→ 18:30 MEDIUM 10

時計の設定は、電源プラグをコンセントから抜くと解除されます。
時計として使用する場合は、電源プラグを差し込んだままにしてください。
※抜いても約 3 分以内に差し込むと解除はされません。

3ヶ月以上使用されない場合は電源プラグを抜いてください。

3. **時刻の設定後［操作ボタン］のタイマー設定ボタン［Auto PROG］を長押しする**

●「ピッ」と音が鳴り、液晶表示が下記の表示に変わります。

［操作ボタン］

4. **豆量・濃さ**（6 ページ、10.11. 参照）**を設定し、タイマー時刻**（上記 2 参照）**をセットします。**

タイマー時刻設定（例：［7：30］）

［タイマー設定］

7:30 MILD 6

タイマー設定が終わったら操作ボタンのタイマー設定ボタン［Auto PROG］を押してタイマー設定完了です。

［タイマー設定完了後］

●液晶表示に［タイマーマーク］と、時刻（時計）が表示されます。
豆量・濃さも液晶表示初期の状態に戻りますが、タイマー時刻になると設定された内容で自動的に作業を開始します。

【注】タイマー設定は、タイマーマークが点滅している時のみ設定可能です。
また、時間設定・分設定・タイマー設定ボタンを約 10 秒間押さないと時刻表示に戻ります。
再度タイマー設定をする場合は、3. の手順からおこないます。

※タイマー設定をキャンセルする場合、タイマー設定ボタン［Auto PROG］を 2 回押すとタイマーマークが消えキャンセルできます。再度設定する場合は、3. の手順からおこなってください。

5. **タイマー設定をした時刻に自動的に作動開始**

●ドリップ中は液晶表示に「ドリップマーク」が表示されます。

7:30 MILD 6
ドリップマーク

6. **コーヒーの出来上がりをアラームでお知らせ**

①ドリップが終わると「ピー、ピー、ピー」と 3 回鳴ってお知らせします。
②保温時間は 2 時間で、時間経過後「ピー、ピー、ピー」と 5 回鳴って自動的に停止します。

※保温中の 2 時間は液晶のブルーライトが点灯し続け、ドリップマークが点滅します。
保温時間が終了すると液晶のブルーライトが消灯して、ドリップマークも消えます。
液晶表示は右図のように表示されます。（時刻は一例です）

お手入れのしかた

挽かれたコーヒー粉でドリップケースが満杯になると
［液晶表示］に、ドリップケース満杯警告表示が出ます。
直ちにドリップケースホルダーを開けて、ドリップケース
内のコーヒー粉の量を減らしてください。
その後ドリップケースホルダーを閉めると、ドリップ
ケース満杯警告表示は消えます。

ドリップケース満杯警告表示

【注】ドリップケースホルダーはいきおいよく開きますので、手を添えて開けてください。
コーヒー粉が飛び散ったりする場合があります。

**電源プラグをコンセントから抜き
必ず、保温プレートが冷めてから
お手入れをしてください。**

本体・保温プレート

※水洗いできません

台所用中性洗剤を浸した布を固く絞って拭き、
洗剤が残らないようにきれいに拭き取って
ください。

⚠ 注 意

●本体に水をかけたり、水洗いしない
→本体内部や底部に水が入り、故障の原因になります。

**●台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）以外
のみがき粉・ベンジン・シンナー・硬いたわし
などは使用しない**
→変色や変形の原因になります。

●食器洗い機や食器乾燥器は使わない
→本体が破損して感電や故障の原因になります。

ガラスサーバー・ドリップケース

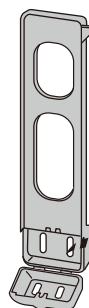
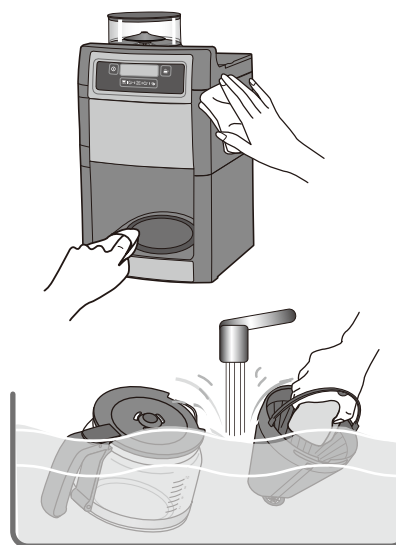
①洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、柔らかい
スポンジなどを使って洗った後に水洗いをしてください。
②乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させます。

お願い

●コーヒーかすが残っていると、酸化して、次に使う時に、
コーヒーの風味を損なう原因になりますので、
すみずみまでていねいに洗ってください。

●ガラスサーバーは、お手入れ後良く乾燥させてください。
→サビやカビ発生の原因になります。

活性炭フィルター

活性炭フィルターケースから取り外し水洗いしてください。
よく乾いたら、活性炭フィルターケースに戻します。

※活性炭フィルターが古くなった時は、
新しいものと交換されることをお勧め
致します。（裏表紙「別売品」参照）

活性炭フィルター

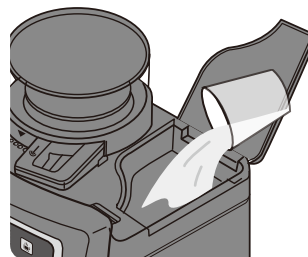
⚠ 注 意

●洗剤は使用しない
→コーヒーの味が変わる原因になります。

**●必ず本体が冷めて、活性炭フィルターから
お湯が出ないことを確認してからおこなう**
→やけどの原因になります。

お手入れのしかた

水タンク

水を入れて 2〜3 回洗い流してください。
長時間使用した場合は、湯アカが付くことがありますので、
1〜3 ヶ月に 1 回湯アカを取り除くお手入れをしてください。

お湯の出具合が悪くなったとき

お使いの間に、本体内のパイプに湯アカが付着して、お湯の出具合が悪くなる時があります。以下の方法で湯アカを取り除いてください。

■湯アカの取り除きかた

	クエン酸	食　酢
分　量	約 10g	50ml
水　量	600ml	270ml

1. 水タンクから活性炭フィルター (ケース) を取り外す
　・活性炭フィルターを取り付けたままクエン酸洗浄を
　　おこなうと、クエン酸のにおいが付いたり、
　　コーヒーの味が変わる原因になります。

2. ガラスサーバーに市販のクエン酸約 10g と水を 600ml 入れてよく混ぜる

3. 2 を水タンクに入れたら、ガラスサーバーを本体にセットし、コーヒーを作る方法で沸かす
　※ペーパーフィルターは使用しません。

4. クエン酸水溶液がガラスサーバーにすべて移ったら、電源ボタンを切る

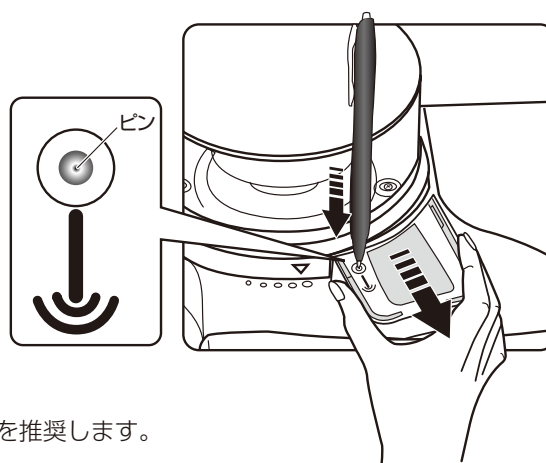
5. ガラスサーバーにたまったクエン酸水溶液を捨てる

6. 5 分程待って本体が冷めたら、水タンクの水位表示「6」まで水を入れてからドリップをする

7. 2 回以上繰り返す（クエン酸のにおいを取り除くため)

コーヒー豆のお手入れ窓

コーヒー豆を挽いた後に、豆の挽きかすが残ります。
使用ごとにケースの窓を取り外して付属の
お手入れ用ブラシでお掃除してください。

① コーヒー豆のお手入れ窓の上の「ピン」の中心を
　ボールペンの先のような尖ったもので下に押し込みます。
② ピンを押し込んだまま、もう一方の手でケースの上部
　の窓を引き抜きます。
③ お手入れブラシを使って内部を掃除します。
　内部のくぼみ部分の仕切りが開くことで、コーヒー粉
　をドリップケースに落とすことが可能です。
　※お手入れの際、ペーパーフィルターを使用されることを推奨します。

お手入れ方法

•内部にたまったコーヒー粉をお手入れブラシで集めてくぼみに落とします。
•コーヒー豆の量表示を「10」、コーヒーの濃さ表示を「STRONG」に設定します。(6 ページ 10,11 を参照)
※「10」「STRONG」以外の設定でも可能ですが、一番長い時間仕切りが開きます。
•設定後電源ボタンを押すと、約 15 秒後にくぼみ部分の仕切りが自動的に開きます。
•仕切りが開いている間 (グラインダー作動状態）のみ、仕切りが開く仕組みなので、素早くお手入れ用ブラシで掃き、ドリップケースへ落とします。
•お手入れ終了後、電源ボタンを OFF にすると、仕切りが元に戻ります。

④「ピン」を人差し指で下に押し込んだまま、もう一方の手でケースの窓をスライドさせてセットします。

※コーヒー豆タンクも使用ごとに、付属のお手入れ用ブラシでお掃除してください。

故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。それでもなお異常がある場合は事故防止のために使用を中止して頂き、お買上げの販売店に点検･修理を依頼してください。

⚠ 危険　お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

こんなとき	お調べいただく事・なおしかた
電源が入らない	**コンセントに電源プラグがしっかり差し込まれていますか？** → 電源プラグを根元まで確実に差し込んで下さい。
コーヒーが漏れ出す	**ドリップケース、ペーパーフィルター、ドリップケースホルダー、ガラスサーバーは正しくセットされていますか?** →それぞれを正しくセットしなおしてください。
コーヒーが抽出されない	**ドリップケース、ペーパーフィルターは正しくセットされていますか?** →ドリップケース、ペーパーフィルターを正しくセットしなおしてください。
コーヒーの味がが極端に薄い	**ペーパーフィルターは、ドリップケースの内側形状に合わせて正しくセットされていますか?** →ペーパーフィルターを正しくセットしなおしてください。
コーヒーの沸騰中の音が大きくなった	**湯アカがたまっていませんか?** →湯アカの除去をしてください。（9 ページ参照）
コーヒーのでき上がり時間が長くなった	**湯アカがたまっていませんか?** →湯アカの除去をしてください。（9 ページ参照）
抽出されたコーヒーがぬるい	**冷蔵庫で冷やした水など、使用した水の温度が冷たすぎませんか?** →常温の浄水、市販のミネラルウォーターや飲用水を使用してください。 **ガラスサーバーが冷えていませんか?** →抽出前にガラスサーバーにお湯を入れ温めてください。

保管のしかた

●汚れをしっかり拭き取り、水気が残らないように十分乾燥させてください。
●直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
●子供や幼児の手の届かない所で保管してください。

廃棄のしかた

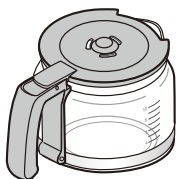
●お住まいの各自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

製品仕様

定格電圧：AC100V	水タンク容量：MAX1300ml
定格周波数：50/60Hz	コーヒー豆タンク容量：MAX150g
定格消費電力：1000W	抽出方法：ドリップ式(水溶器一体型)
電流ヒューズ：15A	材質：ABS 樹脂、ガラス
温度ヒューズ：229℃	付属品：メジャースプーン ：お手入れ用ブラシ
本体重量：約 4kg	
本体サイズ：約(幅)25x(奥行)25x(高さ)39cm	生産国：中国
コード長さ：約 120cm	

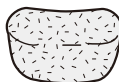
別売品

ガラスサーバー

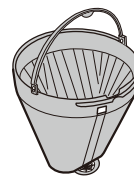
部品番号：RMCM4S

販売価格：2,500 円(税込)

活性炭フィルター

部品番号：RMCM4F

※交換の目安は 1 日 1 回の使用で約 1 年です。

販売価格：1,000 円(税込)

ドリップケース

部品番号：RMCM4D

販売価格：1,500 円(税込)

●お求めは、カスタマーサポートセンターまでお願い致します。

カスタマーサポートセンター
TEL：03-5365-3131

受付時間　10：00~17：00（土·日·祝日を除く）

※お問い合わせの際には、製品名·品番をご連絡ください。